

平成28年度事業報告(概要)

事業所名	主な報告事項
法人本部	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内市に「にじいろスクエア・せとうち」を開設した。 ・新制度における法人組織の強化を念頭に、組織規程の改正等の協議を行った。 ・人材マネジメント委員会を中心に新卒職員の確保に努力した。
しずたに	<ul style="list-style-type: none"> ・相模原市で発生した事件を受け、防犯カメラの設置等施設内防犯対策を強化した。 ・困難なケースについて外部アドバイザーの指導を受け、専門的スキルの習得に取り組んだ。
閑谷ワークセンター・せと	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内、唯一の就労移行支援事業所として、就労移行プログラムを実施。また、相談支援事業所及び支援校からの直Bアセスメントを実施している。 ・地域のクリーン作戦、江西学区ふれあい祭への参加や、瀬戸町内障害者福祉事業所の「せとつながり隊」を定期的実施、地域への福祉理解、地域活動に繋げている。 ・一泊旅行を実施。郡上八幡市役所や社協の協力により、現地通所事業所利用者との交流を行った。
閑谷ワークセンター・わけ	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護、就労継続支援B型ともに定員変更を行った。出席率が上がった。 ・平均工賃を増額することができた。(28年度16,113円)
閑谷ワークセンター・あかいわ	<ul style="list-style-type: none"> ・5月より指定特定相談支援事業所を開設した。 ・地域の祭りに参加する等など、施設外活動を実施した。
閑谷デイサポート・わけ	<ul style="list-style-type: none"> ・身体機能や生活能力の維持向上のため体操・ウォーキングを取り入れた。 ・日笠小学校との交流や地域の行事に参加した。
閑谷福祉会地域ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ・スクラムハウスを廃止した。 ・入居者の余暇の充実を図り、生活の場としての楽しみが広がるよう支援した。
ホームヘルプサービス・もみじの里	<ul style="list-style-type: none"> ・障害、介護関係共に登録者が減少した。 ・ケース検討等ヘルパーのスキル向上に取り組んだ。
東備地域生活支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、関係機関からの相談が増加し、各機関との連携がより一層必要になった。 ・和気町だけではなく、赤磐市からの要望にも応えた。
瀬戸内市地域生活支援センター スマイル	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動支援センターを利用される方が一日あたり20名、とした当初目標を達成した。 ・自立支援協議会を通して、関係機関との交流を図った。 ・リサイクル活動で得た収益で、瀬戸内市図書館へ障害に関する図書を寄贈した。
にじいろスクエア・せとうち 児童発達支援センターひよこ ことり (放課後等デイサービス) ひばり (生活介護)	<ul style="list-style-type: none"> ・「児童発達支援センター」として瀬戸内市に開設した。 ・保護者支援として懇談会、勉強会を開催した。 ・瀬戸内市、和気町の委託事業により保育園、幼稚園の巡回指導を行った。 ・作業療法士の指導の下、感覚統合療法による児童への関わりを定期的に行った。 ・「虐待」研修や、ひやりはっと報告の奨励によりリスクの早期対応に努めた。 ・外出やボランティアによる絵手紙、お花など余暇活動の支援に努めた。 ・保護者同士の交流の場を設けた(ひばりカフェ)。
高齢者グループホームもみじの里 アネックス	<ul style="list-style-type: none"> ・外出等の個別余暇活動を積極的に行った。 ・重度化する利用者に対する職員のスキルアップが不十分であった。